

## 第1回市民講座 レポート

# 里山の自然を感じて

第1回 MELON 環境市民講座は「里山の自然」と題し、実際にフィールドに赴いて自然を感じようと、5月29日（土）に開催されました。向かう先は仙台の中心部から西へ6キロほど行ったところにある蕃山です。モミヤブナの原生林もあるほど自然度の高い里山で、カモシカやクマ、テンが生息するなど豊かな生態系を保っています。ガイドをしてくれたのは MELON 理事で、仙台 YMCA 山岳会会長を務めるなど山歩きの達人である深野稔生さん。



蕃山～百年森～ 山歩きの達人深野稔生理事

蕃山の自然や山歩きのマナーについてユーモアを交えながらお話してくださり、小学生から70代までの幅広い年齢層の36名の参加者たちも、自然を楽しみながら歩くことができました。

深野さんは、仙台のような大都市にこれだけの自然が残されているのは大変貴重なことであり、この貴重な自然を大事にしていかなければならないとおっしゃっていました。都市部に住んでいると、人工的な空間の中で自然を感じることも少なく、自然の大切さを忘れがちになるかもしれません。自然の価値を見失わないためにも、たまにはこうして外に出てみるのもいいでしょう。蕃山での山歩きは心地よい疲れを残し、麓で解散となりました。別れ際、みなさん笑顔だったのがとても印象的で、参加者もスタッフもみんな蕃山の自然を楽しんだと思います。



MELON 会員 布田剛



## 第2回市民講座 レポート

# 旬のものを旬のときに

6月25日に開催した環境市民講座「伝統料理に学ぶ食の安全・安心」には28名の方が参加しました。

午前中は地元で伝わる精進料理を伝承する会「小牛田地区精進料理の会」の方を講師に「夏の組膳」を受講しました。地元でとれる野菜を使った献立は工夫されていて、忘れていたものを思い出させていただきました。

思いつかない材料の使い方も参考になりました。こんぶの「だし」は素材が生かされ、素朴で懐かしい味でした。片付けでは皿に残った油分を紙でふき取ってから洗浄する環境を考えた洗い方でした。

昼食後は、JAみどりの園芸課長による「食の安全・安心への取り組み」の話がありました。輸入農薬の使用問題で消費者との信頼関係を失ったことの対策として「生産物の履歴を記帳すること」、「情報開示すること」を組合員とともにやっているそうです。生産者と消費者の信頼が一番ですので、このような方法をとるようになってきたことは、ちょっと残念に思います。

生産者の努力を聞き、消費者の一員として「安全・安心」を求めるには、「はしり」を求めすぎず「旬のものを旬のときに」を心がけたいと思います。

緑・食部会 田口恭子



夏の精進について学習しました。↑  
豆腐の寒天寄せ試作中→  
豆腐とキュウリで作ります。花が咲いたようにきれいにできました。



砂糖と上南粉、長芋を混ぜて作ったお菓子。”おまけ”で作り方を教えていただきました♪中にはこしあんが入っています。